

## 軍事演習のため米軍艦船が名古屋港に 党市議団 入港拒否の申し入れや監視を行い、軍事利用に抗議

陸上自衛隊と米陸軍による合同演習のため、その訓練用の装甲車等を積んだ米軍のチャーター船が8月31日に、米軍の兵站支援艦が9月4日に名古屋港の飛島ふ頭に接岸。訓練を目的とする米軍艦船の寄港は、記録が残る1966年以降初めてです。



米軍チャーター船を視察する高橋市議（左、8月31日）

### 米軍入港は24時間前まで非公表

党市議団としては8月25日、装甲車等を積んだ米軍関係艦船の入港を拒否するよう名古屋港管理組合に申し入れを行いました。名港管理組合からは「今の時点で話せることは無い」という回答でした。

米軍が利用する際は、24時間前にしか公表しないというルールのもと、8月31日に米軍チャーター船「GREEN LAKE」（上写真）が名古屋港の飛島ふ頭に接岸すると連絡が入ったのは前日でした。

### 装甲車を丸見えで運搬

31日は名港管理組合職員と共に高橋ゆうすけ市議と、わしの恵子県議が、米軍チャーター船の接岸を視察。現場に到着した時には、装甲車（下写真）や給油車な



どを運搬車に載せるところでした。

米軍チャーター船から陸揚げされた車両は、装甲車が20台、給油車など他の車両も含めると計34台。装甲車に実弾が入っているか聞くと、名港管理組合は「火薬類は無い、と聞いている」と答えました。

その後、装甲車は幌もかけられず丸見えの状態、滋賀県の「あいば野演習場」に運ばれて行きました。

### 米軍の兵站支援艦も接岸

9月4日には米軍の兵站支援艦「CW3 HAROLD C. CLINGER」（下写真）が飛島ふ頭に接岸すると前日に連絡が。名港管理組合職員と共に山口清明市議、高橋市議が視察を行い、本村伸子衆院議員らも同行しました。

荷卸しの邪魔にならない敷地内の場所で注視していると、米軍側が「敷地の外へ移動するように」「危ない」「邪魔になる（後に撤回）」と止めに来ました。視察団は、私たちはこの敷地内を管理している名港管理組合の許可を得ている、と抗議。自動車の通らない場所に10mほど下がり、視察を続けました。

前回は丸見えの状態に運ばれた軍用車が、今回は幌がかけられた状態で運ばれて行きました。

### 実戦的な軍事利用に注意

山口市議は「儀礼的な軍艦の入港から、軍事訓練のための武器や資機材の運搬のための入港へ、より実戦的な軍事利用に変化してきており注意が必要」と話しています。

合同演習の後、どのようなルートで装甲車等が運ばれるのか、帰路は現時点で未発表。高橋市議は「軍事利用には、抗議や監視を続け、軍艦が入港できない環境を作っていきたい」と話しています。

